

化学製品安全データシート (MATERIAL SAFETY DATA SHEET)

1、製造者情報

会社名 株式会社 ユニックス
住所 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4丁目14-31
担当部門 表面処理事業部 技術課
電話番号 072-968-1166
FAX 072-966-3233
緊急連絡先 同上
作成日 2012年1月31日

2、製品名

US 1000 PART-A主剤

種類 ポリウレタン樹脂塗料(溶剤型二液混合)
主な用途 金属上耐磨耗、騒音防止など

3、組成、成分情報

・物質の性質 ポリウレタンプレポリマー溶液
・単一製品・混合物の区別 混合物

・成分及び含有率

成分名	含有率(%)	CAS No	化審法番号	備考
ウレタンプレポリマー	55		7-877	
ジクロロメタン	35	0075-93-3	2-36	安衛法通知
メチルエチルケトン	10	0078-2-542	2-542	

4、危険有害性の要素 危険有害情報

- ◇ 引火性の高い液体および蒸気
- ◇ 蒸発蒸気は空気との混合により爆発性の性質を呈す
- ◇ 飲み込むと有害
- ◇ 吸入すると生命に危険
- ◇ 皮膚刺激
- ◇ 重篤な眼の損傷
- ◇ 臓器の障害(呼吸器系、中枢神経系、神経系)
- ◇ 眼気およびめまいのおそれ
- ◇ 長期に渡るまたは反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、末梢神経系、肝臓)

5、応急処置

・目に入った場合

- ◇ 直ちに多量の流水で15分以上洗浄する。
- ◇ 瞼の裏まで完全に洗う。
- ◇ 医師の診断を受けること。

・皮膚に付着した場合

- ◇ 汚染された衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨てる。
- ◇ 大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
- ◇ 外観に変化があるか痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。

- ・飲み込んだ場合
 - ◇ 水で口の中をよく洗わせる。
 - ◇ 本人が自発的に吐くことが可能であっても嘔吐させないで専門医の判断を受けること。
 - ◇ 安静にして直ちに医者への診断を受ける。
- ・吸入した場合
 - ◇ 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
 - ◇ 呼吸が不規則な場合は人工呼吸を施すこと。
 - ◇ 直ちに多量の流水で15分以上洗浄する。医師の診断を受ける。

6、火災、消火に関する情報

- ・有効な消火剤
 - ◇ 粉末、ドライケミカル、二酸化炭素、泡消化剤、乾燥砂等
- ・安全上の事由から使用を勧めない消火剤
 - ◇ 放水
- ・特記事項
 - ◇ 蒸気や分解ガスが発生するので自給式呼吸器・保護手袋等を着用する。
 - ◇ 着火していないドラム缶・その他設備に放水し、延焼、過熱防止に努める。

7、漏洩時の処置

- ・予防
 - ◇ 付近の着火源となるものを近くに置かず、消化剤を準備する。また、火花を発生しない安全な用具を使用する。
- ・環境情報
 - ◇ 漏出物を上・下水道及び循環濾過水道に廃棄しないこと。
- ・除去方法
 - ◇ こぼれた液が広がらないように砂、土、おがくず等で囲い、出来るだけ容器に回収する。回収容器は密閉してはならない。回収し切れなかった液体に関しては中和剤を撒布し、ポロ布、紙くず等で吸着させ蓋付き容器で保管して除去する。
- ・人体に対する注意事項
 - ◇ 付近の着火源、高温体および可燃物を速やかに取り除く。
 - ◇ 着火した場合に備えて、粉末又は泡消化剤を準備する。
 - ◇ 保護眼鏡、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。
 - ◇ 部外者の立入りを禁止する。
 - ◇ 風上から作業し、風下の人を待避させる。
 - ◇ こぼれた場所の換気をよくする。
 - ◇ 漏れた個所の仮補修を行い、漏れを止める。

8、取り扱い上及び保管の注意

- ・取り扱い
 - ◇ 技術的対策
本製品を取り扱う時は保護眼鏡、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。作業場の換気を十分行ない、作業者は保護具を着用する。
 - ◇ 注意事項
感作性を示す人には取り扱わせない
 - ◇ 安全取り扱いの注意事項
強酸化剤との接触を避けること。
- ・保管
 - ◇ 適切な保管条件
換気のできる屋内で密閉保管する。
容器を開放した後は、空間部分を窒素ガス又は乾燥空気(露点-30℃以下)で置換し密栓する。
屋外に保管する場合は、容器に雨水等の接触がないように防水シートで覆う。
保管の場所は火気厳禁とする。

9. 曝露防止及び保護処置

・作業者に対する保護情報及び保護具について	◇ 呼吸器の保護具:有機ガス用防毒マスク			
	◇ 手の保護具:ゴム又はプラスチック製保護手袋(不浸透性)			
	◇ 眼の保護具:側板付き保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡			
	◇ 皮膚および身体の保護具:不浸透性の保護衣および長靴			
・設備対策	◇ 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を表示する。			
・管理濃度				
	◇ ジクロロメタン	200ppm		
	◇ メチルエチルケトン	200ppm		
・許容濃度				
	◇ ジクロロメタン			
	日本産業衛生学会	200ppm	(時間加重平均	1999年度版)
	ACGIH	200ppm	(TLV-TWA	1999年度版)
	◇ エチルメチルケトン			
	日本産業衛生学会	200ppm	(時間加重平均	1999年度版)
	ACGIH	300ppm	(TLV-STEL	1999年度版)

10. 物理的及び化学的性質

・物理的状态	◇ 形状	液体	
	◇ 色	透明色	
	◇ 臭い	—	
・pH	該当なし		
・融点、沸点、引火点、発火点	◇ 融点(°C)	—	
	◇ 沸点(°C)	—	
	◇ 引火点(°C)	< -7	
	◇ 発火点(°C)	514	
・密度・圧力	◇ 蒸気圧	—	
	◇ 蒸気密度(kg/(m ³))	—	
	◇ 密度(kg/(m ³))	1.06-1.16	
・爆発性	◇ 爆発限界(vol%)	1.7-11.4	
・溶解性	◇ 水に対する溶解性	不溶	
	◇ 有機溶媒に対する溶解性	アルコールに易溶	
・オクタノール/水分分配係数	データなし		
・その他のデータ	◇ 粘度(mPa·s)	700-1500	(25°C)

11. 安全性及び反応性

・安定性	◇ 可燃性	有
	◇ 発火性	有
	◇ 酸化性	有
	◇ 自己反応性・爆発性	有
	◇ 粉じん爆発製	無
	◇ その他	NA

・反応性

- ◇ アミン、アルコール、水と反応する。
- ◇ 強アルカリ、強酸と反応し爆発する恐れがある。
- ◇ 燃焼によりHCl、Cl、COが発生する。

12. 有害性情報

	ジクロロメタン	メチルエチルケトン
・急性毒性 経口毒性	区分4	区分5
経皮毒性	—	区分外
ガス吸入	対象外	—
蒸気吸入	区分外	区分5
・皮膚腐食性/刺激性	区分2	区分2
・眼刺激性	区分2A	区分2B
・呼吸器感受性	データなし	データなし
・皮膚感受性	データなし	データ不足
・生殖細胞変異原性	区分外	区分外
・発がん性	区分2	区分外
・生殖毒性	データ不足	区分外
・全身毒性(単回暴露)	区分1(中枢神経、呼吸器) 区分3(麻酔作用)	区分1(中枢神経系) 区分2(腎臓)
・全身毒性(反復暴露)	区分1(中枢神経系、肝臓)	区分1(中枢神経系、 末梢神経系)
・吸引性呼吸器有害性	—	区分2

13. 環境影響情報

	ジクロロメタン	メチルエチルケトン
・水生環境有害性 急性	区分2	区分外
慢性	区分2	区分外

14. 廃棄に関する情報

取扱い及び保管上の注意の項のほか次の事項について注意する。

・本製品の処理

- ◇ 産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
- ◇ 適せつな設備で焼却処分する。

・汚染物の処分

- ◇ 空容器は地域の法規に準拠して、リサイクル、産業廃棄物として処分すること。

15. 運送上の注意

・国際規制

- ◇ 日本国内では道路運送車両法に準拠する。
- ◇ UN番号: 1263

16. 適用法令

- ◇ 消防法: 危険物第4類第1石油類 非水溶性 危険等級Ⅱ
- ◇ 安衛法: 表示物質有機則(第2種有機溶剤)
- ◇ 船舶安全法: クラス6, 1(毒物)

化学製品安全データシート (MATERIAL SAFETY DATA SHEET)

1、製造者情報

会社名 株式会社 ユニックス
住所 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4丁目14-31
担当部門 表面処理事業部 技術課
電話番号 072-968-1166
FAX 072-966-3233
緊急連絡先 同上
作成日 2012年1月31日

2、製品名

US 1000 PART-B 硬化剤

種類 ポリウレタン樹脂塗料(溶剤型二液混合)
主な用途 金属上耐摩耗、騒音防止など

3、組成、成分情報

・物質の性質
・単一製品・混合物の区別

MDAエチルアセテート溶液
混合物

・成分及び含有率

成分名	含有率(%)	CAS No	化審法番号	備考
4-4'メチレンジアニリン	35	107-77-9	4-40	
エチルアセテート	65	110-78-6	2-726	安衛法通知

4、危険有害性の要素

危険有害情報

- ◇ 引火性の高い液体および蒸気
- ◇ 蒸発蒸気は空気との混合により爆発性の性質を呈す
- ◇ 飲み込むと有害
- ◇ 吸入すると生命に危険
- ◇ 皮膚刺激
- ◇ 重篤な眼の損傷
- ◇ 臓器の障害(呼吸器系、中枢神経系、神経系)
- ◇ 眼気およびめまいのおそれ
- ◇ 長期に渡るまたは反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、末梢神経系、肝臓)

5、応急処置

・目に入った場合

- ◇ 直ちに多量の流水で15分以上洗浄する。
- ◇ 瞼の裏まで完全に洗う。
- ◇ 医師の診断を受けること。

・皮膚に付着した場合

- ◇ 汚染された衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨てる。
- ◇ 大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
- ◇ 外観に変化があるか痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。

・飲み込んだ場合

- ◇ 口を濯がせて、グラス一杯程度の水を飲ませる。
 - ◇ 本人が自発的に吐くことが可能であっても嘔吐させないで専門医の判断を受けること。
 - ◇ 安静にして直ちに医者 of 診断を受ける。
- ・吸入した場合
- ◇ 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
 - ◇ 呼吸が不規則な場合は人工呼吸を施すこと。
 - ◇ 直ちに多量の流水で15分以上洗浄する。医師の診断を受ける。

6、火災、消火に関する情報

- ・有効な消火剤
 - ◇ 粉末、ドライケミカル、二酸化炭素、泡消化剤、乾燥砂等
- ・安全上の事由から使用を勧めない消火剤
 - ◇ 放水
- ・特記事項
 - ◇ 蒸気や分解ガスが発生するので自給式呼吸器・保護手袋等を着用する。
 - ◇ 着火していないドラム缶・その他設備に放水し、延焼、過熱防止に努める。

7、漏洩時の処置

- ・予防
 - ◇ 付近の着火源となるものを近くに置かず、消化剤を準備する。また、火花を発生しない安全な用具を使用する。
- ・環境情報
 - ◇ 漏出物を上・下水道及び循環濾過水道に廃棄しないこと。
- ・除去方法
 - ◇ こぼれた液が広がらないように砂、土、おがくず等で囲い、出来るだけ容器に回収する。回収容器は密閉してはならない。回収し切れなかった液体に関しては中和剤を撒布し、ポロ布、紙くず等で吸着させ蓋付き容器で保管して除去する。
- ・人体に対する注意事項
 - ◇ 付近の着火源、高温体および可燃物を速やかに取り除く。
 - ◇ 着火した場合に備えて、粉末又は泡消化剤を準備する。
 - ◇ 保護眼鏡、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。
 - ◇ 部外者の立入りを禁止する。
 - ◇ 風上から作業し、風下の人を待避させる。
 - ◇ こぼれた場所の換気をよくする。
 - ◇ 漏れた個所の仮補修を行い、漏れを止める。

8、取り扱い上及び保管の注意

- ・取り扱い
 - ◇ 技術的対策
本製品を取り扱う時は保護眼鏡、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。作業場の換気を十分行ない、作業者は保護具を着用する。
 - ◇ 注意事項
感作性を示す人には取り扱わせない
 - ◇ 安全取り扱いの注意事項
強酸化剤との接触を避けること。
- ・保管
 - ◇ 適切な保管条件
換気のできる屋内で密閉保管する。
容器を開放した後は、空間部分を窒素ガス又は乾燥空気(露点-30℃以下)で置換し密栓する。
屋外に保管する場合は、容器に雨水等の接触がないように防水シートで覆う。
保管の場所は火気厳禁とする。

9. 曝露防止及び保護処置

- ・作業者に対する保護情報及び保護具について
 - ◇ 呼吸器の保護具:有機ガス用防毒マスク
 - ◇ 手の保護具:ゴム又はプラスチック製保護手袋(不浸透性)
 - ◇ 眼の保護具:側板付き保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡
 - ◇ 皮膚および身体の保護具:不浸透性の保護衣および長靴
- ・設備対策
 - ◇ 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を表示する。
- ・管理濃度
- ・許容濃度
 - ◇ エチルアセテート 400ppm
 - ◇ エチルアセテート
日本産業衛生学会 200ppm (時間加重平均 1999年度版)

10. 物理的及び化学的性質

- ・物理的状态
 - ◇ 形状 液体
 - ◇ 色 淡黄色
 - ◇ 臭い —
- ・pH 該当なし
- ・融点、沸点、引火点、発火点
 - ◇ 融点(°C) —
 - ◇ 沸点(°C) —
 - ◇ 引火点(°C) -3
 - ◇ 発火点(°C) 427
- ・密度・圧力
 - ◇ 蒸気圧 —
 - ◇ 蒸気密度(kg/(m³)) —
 - ◇ 密度 0.92
- ・爆発性
 - ◇ 爆発限界(vol%) 2.2-11.5
- ・溶解性
 - ◇ 水に対する溶解性 不溶
 - ◇ 有機溶媒に対する溶解性 易溶
- ・オクタノール/水分配係数
データなし

11. 安全性及び反応性

- ・安定性
 - ◇ 可燃性 有
 - ◇ 発火性 有
 - ◇ 酸化性 有
 - ◇ 自己反応性・爆発性 無
 - ◇ 粉じん爆発製 無
 - ◇ その他 無
- ・反応性
 - ◇ 燃焼によりCO、CO₂、N₂が発生する。

12. 有害性情報

		酢酸エチル	4-4'メチレンジアニリン
・急性毒性	経口毒性	対象外	区分4

経皮毒性	対象外	区分3
ガス吸入	対象外	対象外
蒸気吸入	対象外	—
・皮膚腐食性/刺激性	対象外	区分3
・眼刺激性	区分2B	区分2A
・呼吸器感作性	対象外	—
・皮膚感作性	対象外	区分1
・生殖細胞変異原性	対象外	区分2
・発がん性	対象外	区分2
・生殖毒性	対象外	区分2
・全身毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系) 区分3(麻酔作用)	区分1(肝臓、腎臓、心臓、 中枢神経系、視覚器)
・全身毒性(反復暴露)	対象外	区分1(心臓、肝臓)
・吸引性呼吸器有害性	対象外	—

13. 環境影響情報

		酢酸エチル	4-4'メチレンジアニリン
・水生環境有害性	急性	区分外	区分1
	慢性	区分外	区分1

14. 廃棄に関する情報

取扱い及び保管上の注意の項のほか次の事項について注意する。

・本製品の処理

- ◇ 産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
- ◇ 適せつな設備で焼却処分する。

・汚染物の処分

- ◇ 空容器は地域の法規に準拠して、リサイクル、産業廃棄物として処分すること。

15. 運送上の注意

・国際規制

- ◇ 日本国内では道路運送車両法に準拠する。
- ◇ UN番号:UN1263

16. 適用法令

- ◇ 消防法:危険物第4類第1石油類 非水溶性 危険等級Ⅱ
- ◇ 安衛法:表示物質有機則(第2種有機溶剤)
- ◇ 船舶安全法:クラス3(引火性液体)